

科目名	言語文化論					単位	2.0
担当教員	平野 克典						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5204

●授業のテーマ

ことば（記号）と文化の関連性理解

●到達目標

ことばの仕組みや意味についての理解を深めると共に、文化を記号として読み解く視点を培う。さらに、文学作品の生成に影響している文化的要素を考慮した作品理解ができるようになる。

●学習内容(授業概要)

ことばは単に意味を伝達する媒体ではなく、我々のものの見方や思考を規定するものである。また、人間が日々行うさまざまな対象への意味付けの営みを通じて、文化は形成されていく。素朴な言語観や意味は固定化されたものだ、という見方を批判的に捉え、ことばや意味に対するさまざまな見解、そしてことばと文化との関連などを一つ一つ授業では紹介していく。なお、本講義の後半ではインドの文学作品を取り挙げ、コンテキストを考慮した読み方を示し、意味の創造を理解してもらう。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 講義の概要
2. ことばの仕組み
3. コミュニケーション理論
4. 意味について考える
5. 意味の創造：字義主義とコンテキスト主義
6. 記号について
7. イコン、インデックス、シンボル
8. 記号の体系
9. コンテキスト主義の実践：『バガヴァッド・ギター』
10. 『マハーバーラタ』を読む
11. 『ラーマーヤナ』を読む
12. 『焼身』：不浄観と女性の地位
13. ことばと世界
14. 記号の意味と文化
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：学習内容（授業計画）について毎回下調べをすること。

事後学習：毎回授業のまとめと感想を書いてください。

●成績評価方法・基準

授業への参加状況（授業態度、小レポート）30%と定期試験70%

●テキスト（必携）

●参考文献／その他
授業中に指示する

●履修上の注意
言語学や記号論の入門書を読んでおくとよい。